

3 . 検査会利用者の属性に関する調査結果

研究代表者：塩野徳史（名古屋市立大学看護学部/MASH 大阪）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄、宮田りりい(公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪)

大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH 大阪）

鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部/MASH 大阪）

松本健二（大阪市保健所感染症対策監）

半羽宏之（大阪市健康局医務監兼保健所感染症対策課長）

安井典子、細井舞子（大阪市保健所感染症対策課）

研究要旨

目的：

日本の HIV 感染は MSM を中心に限局的に拡大しており、特にゲイ向け商業施設利用者が感染リスクの高い集団であると指摘されている。また梅毒の感染増加も報告されている。本研究ではゲイコミュニティにおけるコホートを構築し、HIV 感染や梅毒感染の動向を明らかにすることで、今後の感染対策の方針や予防啓発の評価尺度とすることを目的とした。

方法：

本研究では検査会を 4 回実施した。対象者の特定には指紋認証システムによって、住所や氏名などの個人情報を取得せずコホート集団を構築した。属性の把握には質問紙調査を実施した。初年度は検査会利用者の属性を明らかにし、本検査会の効果について検討する。

結果：

累計で受検者数 127 人、指紋登録者割合 78.6%、結果受取割合 96.1%、HIV 陽性判明 5.5%、梅毒陽性・要治療判明 4.7%であった。属性はゲイ 76.0%、大阪府在住 71.2%、平均年齢 34.1±10.4 歳、dista 初来場者 42.4%、過去 6 カ月間のゲイ向け商業施設利用割合は 83.2%、初受検者割合は 27.2%であった。特に 3 回目の検査会では、受検者数は 23 人と少なかったものの、HIV 陽性判明者数 17.4%、梅毒陽性・要治療判明者数 13.6%であり、利用者属性の中でも、過去 6 カ月間の有料ハッテン場利用割合が 73.9%と極めて高かった。

考察：

検査会利用者とコミュニティセンター-dista 利用者の属性は類似しており、ゲイ向け商業施設利用者割合はやや高く、コンドーム使用割合はやや低かった。特に 10 月の検査会におけるゲイ向け商業施設利用割合は 95.7%で、HIV 感染や梅毒の陽性判明者割合も高かったことから、本検査会は、MASH 大阪が構築してきたコミュニティとの関係性を基盤とし、検査ニーズの高いハイリスク層が受検したと考えられる。

A. 研究目的

大阪地域の MSM における感染動向は厚生労働省エイズ動向委員会の報告によれば、大阪を含む近畿地域の2014年新規HIV感染者数は、男性同性間性的接触によるものが147人で2013年(161人)に比べやや減少傾向を示している。しかし新規AIDS患者数は49人であり、2013年(49人)と同数である。先行研究で報告されている近畿地域のMSM割合を用いた罹患率では、HIV罹患率が43.1(2012年)、58.3(2013年)、53.3(2014年)であり、AIDS罹患率は15.6(2012年)、17.8(2013年)、17.8(2014年)であり減少したとは言えない。

MSM 出生年代別にみた先行研究ではAIDS罹患率の推移は1950年代生まれ以外のいずれの年代でも増加傾向であった。近年では1970年代生まれや1980年代生まれでは感染拡大傾向は抑制されつつあるものの、出生年代層が若い群の方がより高く相対的にMSM集団における感染拡大が示唆されている。特にゲイ向け商業施設利用者は性行動が活発であり、感染リスクの高い集団である。またMSMにおいて梅毒は感染が増加していることも報告されており、MSM対象の検査会での梅毒有病率はHIV感染よりも高い。

**付表1 先行研究による
MSMを対象とした検査会結果**

検査会名(地域)	年	N	HIV	梅毒
SWITCH (大阪)	2000	247	1.3%	14.7%
	-2002	-397	-3.3%	-19.6%
MaQ PLuS+ FINAL(大阪)	2010	147	4.1%	-
NLGR+ 検査会(愛知)	2001	148	1.2%	-
	2013	-538	-4.7%	-
かながわの緑+センター-SHIP (神奈川)	2008	85	2.4%	7.3%
	-2011	-115	-3.6%	-12.9%
distaでちえつくん (大阪)	2015 1月	60	1.7%	3.3% (SST)

MSM における HIV 感染や梅毒感染の状況を把握することは、今後の感染対策の方針の決定や予防啓発の評価尺度として極めて有効である。初年度は大阪のゲイ向け商業施設を中

心としたゲイコミュニティにおいて、血液検査と連動させた前向きコホートを構築することを目的とした。本報告では検査会利用者の属性について明らかにすることを通して、コミュニティセンターでの検査会の効果について検討する。

B. 研究方法

1) コホートの構築方法

本研究では対象者の個人特定には生体認証の技術(スワイプ式指紋認証システム)を応用したシステムによって、住所や氏名などの個人情報取得することなくコホート集団を構築することとした。

認証された指紋情報は、ソフトウェア(OmniPass)を活用し、暗号化した上でIDを発行する仕組みとした。対象者には口頭で説明し、同意を得た上で指紋情報を登録してもらい、内蔵されたソフトウェアによって暗号化し、指紋情報と一致させた個別のIDを番号シールとして発行した。

情報の保守性を考慮し、本研究で活用する機器端末は、インターネット接続されない仕組みとした。

2) 質問紙調査の実施

血液検査会終了後の止血確認時に質問紙調査を実施した。質問紙は、事前チェックシートや結果お知らせの案内資料とともにファイルスリーに同封して手渡し、本研究の趣旨を事前に研修を受けたNGOスタッフが書面をもとに口頭で説明し、協力同意の得られた人を対象に回答を依頼した。回答後には、回答者自身がシールで封緘を行い、回答内容をスタッフがみることなく設置された回収箱に投函する仕組みとした。

質問項目は、先行研究をもとに作成し基本属性(性別、居住地、居住携帯、職業、セクシュアリティ)、過去6ヵ月間の利用施設など、

検査行動、一番最近の性行動、性感染症既往歴、dista の利用経験、本検査会の満足度の14 問とした。質問項目の作成にあたっては、当事者参加型の MASH 大阪オープンミーティングで検討の機会をもち、修正を行った。

1 回目 8 月には 25 人が受検し 25 人の回答を得た（回収率 100%）。2 回目 9 月には 27 人が受検し 27 人の回答を得た（回収率 100%）。3 回目 10 月には 23 人が受検し 23 人の回答を得た（回収率 100%）。4 回目 1 月には 52 人が受検し 50 人の回答を得た（回収率 96.2%）。

3) 分析方法

得られた 125 人の回答について、各回の受検者の属性を比較した。年齢はコミュニティセンター利用者と同様に、24 歳以下、25 歳-34 歳、35 歳以上の 3 区分の年齢層に分類した。質問項目は、年齢層、性別、居住形態、職業、セクシュアリティなどの基本属性と、過去 6 ヶ月間の商業施設などの利用状況、性感染症既往歴、性行動、検査行動、コミュニティセンター-dista の利用状況、本検査会における満足度とした。

データの集計および統計処理には IBM SPSS Statistics 23 を用いた。統計的有意水準は 5%未満とした。

なお、本調査は名古屋市立大学看護学部研究倫理委員会より実施の承認を得ている。(ID 番号 15014-2 2015 年 6 月 23 日)

C. 研究結果

本検査会の概要を以下の表に示す。

	1回目 8月	2回目 9月	3回目 10月	4回目 1月	計	2014年度
受検者数	25人	27人	23人	52人	127人	60人
初利用者	25人	26人	22人	44人	117人	
指紋登録者数	24人 (96%)	22人 (84.6%)	18人 (81.8%)	28人 (63.6%)	92人 (78.6%)	-
結果受け取り	25人	24人	22人	51人	122人	59人
HIV陽性判明数	0人 (0.0%)	3人 (11.1%)	4人 (17.4%)	0人 (0.0%)	7人 (5.5%)	1人 (1.7%)
梅毒受検者	24人	26人	22人	52人	124人	
梅毒陽性判明数(要治療)	0人 (0.0%)	2人 (7.7%)	3人*重複 (13.6%)	0人 (0.0%)	5人 (4.0%)	2人 (3.3%)
梅毒陽性判明数(既往含む)	2人 (8.3%)	3人 (11.5%)	3人 (13.6%)	2人 (3.8%)	10人 (8.1%)	-

4 回の検査会の累計は、受検者数 127 人、指紋登録者割合 78.6%、結果受取割合 96.1%、HIV 陽性判明者数 7 人（5.5%）、梅毒陽性・要治療判明者数 6 人（4.7%）であった。結果受取は設定した翌週に取りに来られない場合には大阪市保健所などで別日に対応した。

3 回目 10 月に実施した検査会では特に HIV 陽性判明者数が多く 4 人（17.4%）であり、梅毒陽性・要治療との重複感染もみられた。

なお、本検査会における HIV 陽性判明者および梅毒陽性・要治療判明者については全て検査結果を受け取りに来られた。

1) 検査会利用者の属性

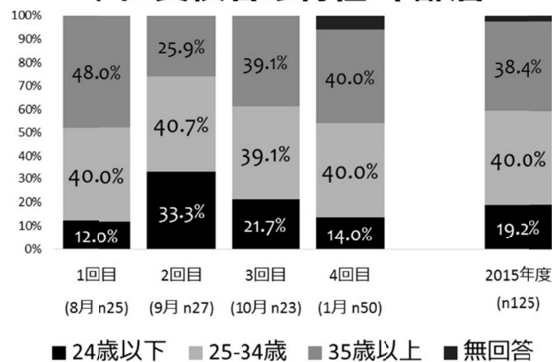
検査会利用者を対象とした質問紙調査の分析結果を表 1～表 4 に示した。

検査会利用者の平均年齢は、1 回目（8 月）が 34.5 ± 8.1 歳（最少年齢 18 歳、最高年齢 46 歳）、2 回目（9 月）が 30.6 ± 9.6 歳（最少年齢 17 歳、最高年齢 49 歳）、3 回目（10 月）が 35.1 ± 12.2 歳（最少年齢 21 歳、最高年齢 62 歳）、4 回目（1 月）が 3 人の無回答を除き 35.2 ± 10.9 歳（最少年齢 19 歳、最高年齢 66 歳）であった。累計で平均年齢は 34.1 ± 10.4 歳（最少年齢 17 歳、最高年齢 66 歳）であった。

年齢層別にみると 24 歳以下の割合は、1 回目（8 月）12.0%、2 回目（9 月）33.3%、3 回目（10 月）21.7%、4 回目（1 月）14.0%であ

り、有意差はみられなかった ($p=0.31$ 無回答を除いた場合 $p=0.45$)。

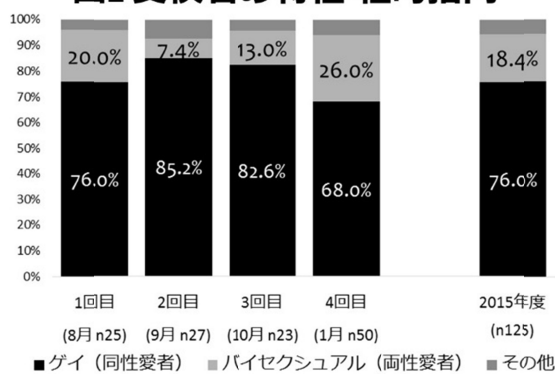
図1 受検者の特性-年齢層



居住地は、いずれの回でも大阪府が最も多く1回目(8月)80.0%、2回目(9月)70.4%、3回目(10月)60.9%、4回目(1月)72.0%であり、有意差はみられなかった ($p=0.39$)。累計では大阪府が71.2%であり最も高かった。次いで兵庫県16.8%、京都府3.2%、滋賀県2.4%、奈良県1.6%であった。

性的指向は、いずれの回でもゲイと回答する割合が最も高く、1回目(8月)76.0%、2回目(9月)85.2%、3回目(10月)82.6%、4回目(1月)68.0%であり、有意差はみられなかった ($p=0.68$)。累計では76.0%であり、次いでバイセクシュアルが18.4%であった。

図2 受検者の特性-性的指向



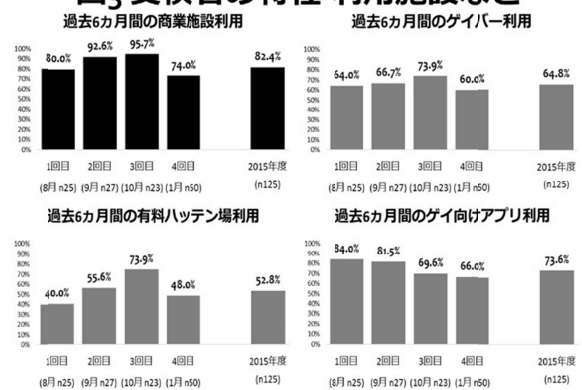
居住形態について1人暮らしの割合は1回目(8月)60.0%、2回目(9月)63.0%、3回目(10月)26.1%、4回目(1月)38.0%であり ($p=0.08$)。親や兄弟姉妹との同居割合は1回目(8月)32.0%、2回目(9月)22.2%、3

回目(10月)56.5%、4回目(1月)44.0%であった ($p=0.18$)。

職業について常勤(正規雇用)の割合は1回目(8月)52.0%、2回目(9月)59.3%、3回目(10月)52.2%、4回目(1月)54.0%であった ($p=0.45$)。

過去6カ月間の利用施設におけるゲイ向け商業施設としてはゲイバー利用が累計で64.8%、1回目(8月)64.0%、2回目(9月)66.7%、3回目(10月)73.9%、4回目(1月)60.0%であった ($p=0.85$)。ゲイナイト利用は累計で24.0%、1回目(8月)32.0%、2回目(9月)33.3%、3回目(10月)26.1%、4回目(1月)14.0%であった ($p=0.40$)。ゲイショップ利用は累計で24.8%、1回目(8月)24.0%、2回目(9月)33.3%、3回目(10月)34.8%、4回目(1月)16.0%であった ($p=0.46$)。有料のハッテン場利用は累計で52.8%、1回目(8月)40.0%、2回目(9月)55.6%、3回目(10月)73.9%、4回目(1月)48.0%であった ($p=0.26$)。4つの施設のうちいずれか利用した割合は累計で83.2%、1回目(8月)80.0%、2回目(9月)92.6%、3回目(10月)95.7%、4回目(1月)72.0%であった ($p=0.22$)。

図3 受検者の特性-利用施設など

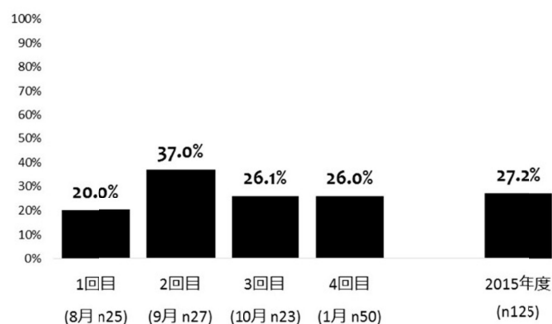


本検査会はゲイ向けアプリやインターネットのバナーでも広報しているが、ゲイ向けアプリの利用は累計で73.6%、1回目(8月)84.0%、2回目(9月)81.5%、3回目(10月)69.6%、4回目(1月)66.0%であった ($p=0.55$)。

コミュニティセンターdistaの初利用者割合は累計で42.4%、1回目(8月)36.0%、2回目(9月)44.4%、3回目(10月)43.5%、4回目(1月)44.0%であった($p=0.74$)。

HIV抗体検査の受検経験について初受検(生涯に未受検)割合は累計で27.2%、1回目(8月)20.0%、2回目(9月)37.0%、3回目(10月)26.1%、4回目(1月)27.2%であった($p=0.55$)。一方で過去1年間の受検経験割合は累計で40.0%、1回目(8月)44.0%、2回目(9月)37.0%、3回目(10月)34.7%、4回目(1月)42.0%であった($p=0.47$)。

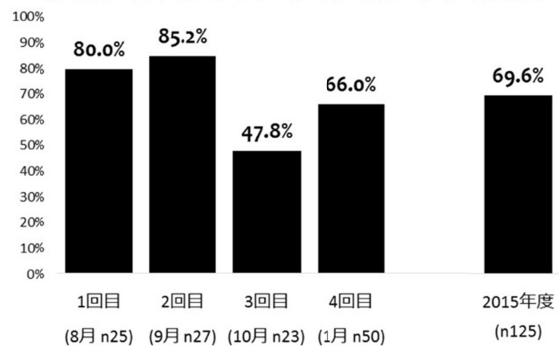
図4 受検者の特性-初受検者割合



生涯に男性とのアナルセックス経験がある人の割合は累計で92.0%、1回目(8月)96.0%、2回目(9月)100.0%、3回目(10月)87.0%、4回目(1月)88.0%であった($p=0.14$)。

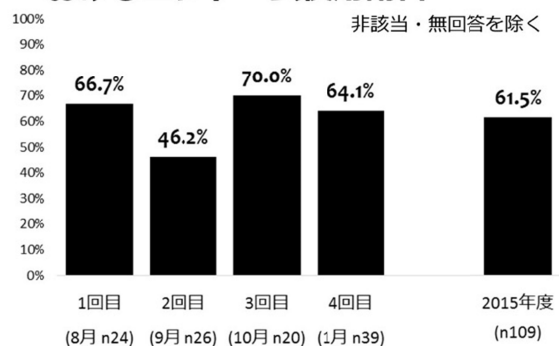
一番最近のアナルセックスが過去6カ月間であった割合は累計で69.6%、1回目(8月)80.0%、2回目(9月)85.2%、3回目(10月)47.8%、4回目(1月)66.0%であった($p=0.18$)。過去6カ月間より以前であった割合は累計で19.2%、1回目(8月)16.0%、2回目(9月)11.1%、3回目(10月)34.8%、4回目(1月)18.0%であった。

図5 受検者の特性
過去6カ月間のアナルセックス経験



非該当・無回答を除き一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用状況について回答があった人のうち、アナルセックス時のコンドーム使用割合は累計で61.5%、1回目(8月)66.7%、2回目(9月)46.2%、3回目(10月)70.0%、4回目(1月)64.1%であった($p=0.31$)。

図6 一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用割合



本検査会における満足度について次の4項目で尋ねた。「話し方・言葉づかい」についてとても満足であった割合は累計で84.8%、1回目(8月)84.0%、2回目(9月)85.2%、3回目(10月)82.6%、4回目(1月)86.5%であった($p=0.98$)。「質問しやすい雰囲気」についてとても満足であった割合は累計で82.1%、1回目(8月)76.0%、2回目(9月)81.5%、3回目(10月)87.0%、4回目(1月)83.8%であった($p=0.49$)。「安心できる雰囲気」についてとても満足であった割合は累計で75.0%、1回目(8月)68.0%、2回目(9月)77.8%、3回目(10月)73.9%、4回目(1月)

78.4%であった($p=0.44$)。「プライバシー 保護」についてとても満足であった割合は累計で63.4%、1回目(8月)52.0%、2回目(9月)66.7%、3回目(10月)65.2%、4回目(1月)67.6%であった($p=0.37$)。

本分析結果は速報として大阪市に還元しており、以下の対策会議等で一部引用されている。第9回重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡協議会(平成28年3月23日)、同性愛者等におけるHIV感染症対策のための研修会および報告会(平成28年3月28日)。

D. 考察

検査会利用者とコミュニティセンターdista利用者の居住地や居住形態、年齢、性的指向、職業、受検行動は類似していた。一方でゲイ向け商業施設利用者割合はやや高く、特に有料ハッテン場の利用割合は52.8%(コミュニティセンター利用者32.0%、以下同)と極めて高かった。また一番最近のアナルセックスにおけるコンドーム使用割合はやや低く61.5%(72.3%)であった。特に10月の検査会利用者における有料ハッテン場利用割合は73.9%であった。これはコミュニティセンター利用者に比べ極めて高い。本研究では詳細な比較検討ができていないので慎重に考察する必要があるが、同10月検査会のHIV陽性判明17.4%、梅毒陽性・要治療判明13.6%であったことと関連している可能性もある。これらの結果から本検査会はコミュニティセンターの性質を反映し、検査ニーズの高い層の検査行動を促進したと考える。

本検査会「distaでピタッとちえっくん」は、検査自体をオープンスペースで実施し、

HIV感染のカミングアウトの状況やHIV感染に対するスティグマを考慮し、検査結果は個人情報として扱うことが既存の検査機会と異なる点であったが、受検者の満足度は先行研究の保健所受検者満足度と比べても高い割合であり、コミュニティセンターでの検査会での実施可能性を示したと言える。

研究計画では本検査会で300人のコホート登録を目指したが、初年度の登録者は92人であった。1回目から3回目からの受検者数は当初の目標より少なかったが、4回目には52人の利用があったことから、指紋認証の導入によって検査の敷居が高まった可能性は少ないと考えられる。指紋の登録時にコミュニティセンターdistaだから了承すると語る受検者も多く、MASH大阪とコミュニティとの信頼関係が構築されていることが重要な要素となっている。2016年1月の指紋登録者割合が低い背景にはマイナンバー制の導入で個人情報保護への意識が高くなったことが考えられ、今後は依頼時に不安を払拭できるよう、より詳細に説明する必要がある。受検者数の増加のためには、広報方法を工夫する必要があるが、継続的な実施で、コミュニティに検査会が浸透し利用者は増加すると考えられる。コミュニティセンターdistaの利用者調査では本検査会の認知は6月が36.9%で、12月が47.5%と増加しており、とりわけ受検者が8人(5.0%、6月)から21人(11.9%、12月)と倍増している。

これらの結果から、本検査会はMASH大阪が構築してきたコミュニティとの関係性を基盤としたものとなっていることが考えられる。

E. 結論

本検査会利用者の属性はコミュニティセンターdista利用者と類似しており、ゲイ向け商業施設利用者割合は高かった。本検査会は検査ニーズの高いハイリスク層が対象となったと考えられる。

しかし受検者数およびコホート登録者数は当初の目標より少なく広報方法を工夫する必要がある。1月の指紋登録者割合が低い背景にはマイナンバー制の導入で個人情報保護への意識が高くなったことが考えられ、依頼時に不安を払拭できるよう、より詳細に説明する必要がある。

コホート登録者については、初年度は対象者数が少なく、プライバシー保護の観点から解析は行わなかった。次年度は、第2期コホートとして検査会を5回に増やし、登録者数の確保を目指す。同時にコホート登録者に向けても再受検を促し、血液検査と連動させたフォローアップによって、新規判明率を推計する。

表 1 検査会利用者における属性

		1回目 8月 n=25	2回目 9月 n=27	3回目 10月 n=23	4回目 1月 n=50	合計 n=125		Pearson χ^2				
居住地												
	大阪府	20	80.0%	19	70.4%	14	60.9%	36	72.0%	89	71.2%	0.39
	兵庫県	2	8.0%	5	18.5%	6	26.1%	8	16.0%	21	16.8%	
	京都府	3	12.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.2%	
	奈良県	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	1	2.0%	2	1.6%	
	滋賀県	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	2	4.0%	3	2.4%	
	和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	
	その他	0	0.0%	1	3.7%	2	8.7%	2	4.0%	5	4.0%	
年齢層												
	24歳以下	3	12.0%	9	33.3%	5	21.7%	7	14.0%	24	19.2%	0.31
	25-34歳	10	40.0%	11	40.7%	9	39.1%	20	40.0%	50	40.0%	
	35歳以上	12	48.0%	7	25.9%	9	39.1%	20	40.0%	48	38.4%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.0%	3	2.4%	
あなたは以下のどれにあてはまりますか?												
	ゲイ（同性愛者）	19	76.0%	23	85.2%	19	82.6%	34	68.0%	95	76.0%	0.68
	バイセクシュアル（両性愛者）	5	20.0%	2	7.4%	3	13.0%	13	26.0%	23	18.4%	
	ヘテロセクシュアル（異性愛者）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	
	わからない	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	0	0.0%	3	2.4%	
	決めたくない	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	
あなたは、現在だれかと一緒に暮らしていますか?(複数回答)												
	一人暮らし	15	60.0%	17	63.0%	6	26.1%	19	38.0%	57	45.6%	0.08
	親や兄弟・姉妹と同居	8	32.0%	6	22.2%	13	56.5%	22	44.0%	49	39.2%	0.18
	同性のパートナーと同居	1	4.0%	3	11.1%	0	0.0%	3	6.0%	7	5.6%	0.60
	同性の友達と同居	1	4.0%	1	3.7%	2	8.7%	1	2.0%	5	4.0%	0.77
	異性のパートナーと同居	0	0.0%	1	3.7%	1	4.3%	4	8.0%	6	4.8%	0.67
	異性の友達と同居	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	0.80
	その他	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%	2	4.0%	4	3.2%	0.47
あなたの現在の職業として、もっとも近いのは次のどれですか?												
	常勤(正規雇用)	13	52.0%	16	59.3%	12	52.2%	27	54.0%	68	54.4%	0.45
	常勤(非正規雇用)	0	0.0%	3	11.1%	4	17.4%	7	14.0%	14	11.2%	
	パートタイマー	2	8.0%	0	0.0%	1	4.3%	2	4.0%	5	4.0%	
	アルバイト	2	8.0%	3	11.1%	0	0.0%	6	12.0%	11	8.8%	
	経営者	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	1	2.0%	4	3.2%	
	学生	3	12.0%	3	11.1%	5	21.7%	5	10.0%	16	12.8%	
	その他	4	16.0%	1	3.7%	0	0.0%	1	2.0%	6	4.8%	
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	1	0.8%	

表2 検査会利用者における性的指向及び利用施設

	1回目 8月 n=25	2回目 9月 n=27	3回目 10月 n=23	4回目 1月 n=50	合計 n=125	Pearson χ^2					
過去6カ月間に、以下の施設やサービスを利用しましたか?(複数回答)											
過去6カ月間の商業施設利用(再掲)	20	80.0%	25	92.6%	22	95.7%	37	74.0%	104	83.2%	0.22
ゲイバー	16	64.0%	18	66.7%	17	73.9%	30	60.0%	81	64.8%	0.85
ゲイナイト	8	32.0%	9	33.3%	6	26.1%	7	14.0%	30	24.0%	0.40
ゲイショップ	6	24.0%	9	33.3%	8	34.8%	8	16.0%	31	24.8%	0.46
ゲイ向けサークル	1	4.0%	5	18.5%	1	4.3%	3	6.0%	10	8.0%	0.34
ゲイ向け合コン	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	1	2.0%	4	3.2%	0.93
mixiなどのSNS	10	40.0%	6	22.2%	8	34.8%	13	26.0%	37	29.6%	0.67
PC出会い系サイト	4	16.0%	1	3.7%	4	17.4%	4	8.0%	13	10.4%	0.53
携帯出会い系サイト	8	32.0%	10	37.0%	6	26.1%	7	14.0%	31	24.8%	0.30
工口系SNS(HuGsや男子寮など)	2	8.0%	2	7.4%	4	17.4%	2	4.0%	10	8.0%	0.51
ゲイ向けアプリ	21	84.0%	22	81.5%	16	69.6%	33	66.0%	92	73.6%	0.55
ゲイの乱バ	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	0	0.0%	3	2.4%	0.74
有料のハッテン場	10	40.0%	15	55.6%	17	73.9%	24	48.0%	66	52.8%	0.26
野外のハッテン場	4	16.0%	4	14.8%	1	4.3%	4	8.0%	13	10.4%	0.67
ハッテン場で有名な公共施設	8	32.0%	6	22.2%	6	26.1%	10	20.0%	30	24.0%	0.83
いずれもなし	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	1	2.0%	2	1.6%	0.74
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか?											
ある	24	96.0%	27	100.0%	20	87.0%	44	88.0%	115	92.0%	0.14
ない	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%	6	12.0%	8	6.4%	
無回答	1	4.0%	0	0.0%	1	4.3%	0	0.0%	2	1.6%	
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか?											
現在～過去6カ月間の間	20	80.0%	23	85.2%	11	47.8%	33	66.0%	87	69.6%	0.18
過去6カ月間～過去1年間の間	0	0.0%	0	0.0%	3	13.0%	5	10.0%	8	6.4%	
1年以上前	4	16.0%	3	11.1%	5	21.7%	4	8.0%	16	12.8%	
覚えていない	0	0.0%	0	0.0%	1	4.3%	1	2.0%	2	1.6%	
生涯なし	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%	6	12.0%	8	6.4%	
無回答	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	1	2.0%	4	3.2%	
一番最近にアナルセックスした相手はどれにあてはまりますか?											
彼氏や恋人	3	12.0%	8	29.6%	3	13.0%	10	20.0%	24	19.2%	0.53
友達やセクフレ	11	44.0%	8	29.6%	7	30.4%	15	30.0%	41	32.8%	
その場限りの相手	10	40.0%	10	37.0%	10	43.5%	16	32.0%	46	36.8%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.0%	2	1.6%	
生涯なし	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%	6	12.0%	8	6.4%	
無回答	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	1	2.0%	4	3.2%	
一番最近にアナルセックスした時、コンドームを使用しましたか?											
使った	16	64.0%	12	44.4%	14	60.9%	25	50.0%	67	53.6%	0.21
使わなかった	6	24.0%	12	44.4%	5	21.7%	14	28.0%	37	29.6%	
覚えていない	2	8.0%	2	7.4%	1	4.3%	0	0.0%	5	4.0%	
生涯なし	0	0.0%	0	0.0%	2	8.7%	6	12.0%	8	6.4%	
無回答	1	4.0%	1	3.7%	1	4.3%	5	10.0%	8	6.4%	

表3 検査会利用者における dista 利用経験及び検査行動

	1回目 8月 n=25	2回目 9月 n=27	3回目 10月 n=23	4回目 1月 n=50	合計 n=125		Pearson χ^2
これまでHIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?							
ある	19	17	16	37	89	71.2%	0.53
ない	5	10	6	13	34	27.2%	
無回答	1	0	1	0	2	1.6%	
これまで何回HIV抗体検査(エイズ検査)を受けたことがありますか?							
1回だけ	6	4	5	11	26	20.8%	0.72
2回	2	4	4	3	13	10.4%	
3回	3	3	0	5	11	8.8%	
4回以上	8	6	6	14	34	27.2%	
未受検	6	10	7	13	36	28.8%	
無回答	0	0	1	4	5	4.0%	
一番最近にHIV検査(エイズ検査)を受けたのはいつですか?							
過去6ヵ月間	3	4	5	15	27	21.6%	0.47
過去6ヵ月以上前～過去1年	8	6	3	6	23	18.4%	
過去1年以上前～過去3年	5	5	4	5	19	15.2%	
過去3年以上前	3	2	3	7	15	12.0%	
未受検	6	10	7	13	36	28.8%	
無回答	0	0	1	4	5	4.0%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか?(複数回答)							
梅毒	1	3	1	2	7	5.6%	0.50
A型肝炎	0	0	0	0	0	0.0%	
B型肝炎	1	3	1	2	7	5.6%	0.50
C型肝炎	0	0	0	0	0	0.0%	
クラミジア	0	3	1	5	9	7.2%	0.36
尖圭コンジローマ	0	1	3	1	5	4.0%	
淋病	1	1	0	4	6	4.8%	0.40
HIV感染症	0	0	0	0	0	0.0%	
赤痢アメーバ	1	0	0	0	1	0.8%	0.25
毛じらみ	4	8	5	12	29	23.2%	
性器ヘルペス	0	1	0	0	1	0.8%	0.31
その他	1	0	1	1	3	2.4%	
いずれもない	13	13	11	24	61	48.8%	0.58
今日を除いて、これまでdista(ディスタ)を訪れたことがありますか?							
過去6ヵ月以内に訪れた	7	11	8	17	43	34.4%	0.74
過去6ヵ月より以前に訪れた	9	4	5	11	29	23.2%	
訪れたことはない(はじめて訪れた)	9	12	10	22	53	42.4%	

表 4 検査会利用者における満足度

	1回目 8月 n=25	2回目 9月 n=27	3回目 10月 n=23	4回目 1月 n=50	合計 n=125	Pearson χ^2
1) 話し方・言葉づかいはどうでしたか?						
とても満足	21 84.0%	23 85.2%	19 82.6%	32 86.5%	95 84.8%	0.98
やや満足	4 16.0%	4 14.8%	4 17.4%	5 13.5%	17 15.2%	
やや不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合計	25 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	37 100.0%	112 100.0%	
2) 質問しやすい雰囲気についてはどうでしたか?						
とても満足	19 76.0%	22 81.5%	20 87.0%	31 83.8%	92 82.1%	0.49
やや満足	6 24.0%	3 11.1%	3 13.0%	5 13.5%	17 15.2%	
やや不満	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 2.7%	3 2.7%	
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合計	25 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	37 100.0%	112 100.0%	
3) 安心できる雰囲気についてはどうでしたか?						
とても満足	17 68.0%	21 77.8%	17 73.9%	29 78.4%	84 75.0%	0.44
やや満足	8 32.0%	4 14.8%	6 26.1%	7 18.9%	25 22.3%	
やや不満	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 2.7%	3 2.7%	
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
合計	25 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	37 100.0%	112 100.0%	
4) プライバシー 保護についてはどうでしたか?						
とても満足	13 52.0%	18 66.7%	15 65.2%	25 67.6%	71 63.4%	0.37
やや満足	10 40.0%	5 18.5%	7 30.4%	7 18.9%	29 25.9%	
やや不満	2 8.0%	4 14.8%	1 4.3%	3 8.1%	10 8.9%	
とても不満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	2 1.8%	
合計	25 100.0%	27 100.0%	23 100.0%	37 100.0%	112 100.0%	